

平成27年度（第4回）定時総会資料

第1号議案

議事録署名人選出の件

士・管理栄養士研修会）、総会議事を次のとおり開催した。

第2号議案

平成26年度事業報告および収入支出決算報告並びに
監査報告承認の件

日時 平成26年5月31日(土) 10時～14時40分

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1

千葉県立保健医療大学 講堂

内容 総会式典 10:00～10:40

特別講演 10:40～12:20

「日本栄養士会の将来構想と実現に向けた
取り組み」

講師 公益社団法人日本栄養士会

会長 小松 龍史

総会議事 13:10～14:40

出席者数 1,128名（内委任状997名）

平成26年度事業報告

1. 平成26年度定時総会の開催

平成26年度定時総会は、古本重和：千葉県健康福祉部
保健医療担当部長、斎藤英生：千葉県歯科医師会会長、
佐野彰：千葉県議会議員・顧問をはじめとする10名の来
賓をお迎えして式典を行い、引き続き特別講演（栄養

平成26年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育などの領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務とおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興（公益法人認定法別表1号）を図るものである。
6号	本事業は、「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興（公益法人認定法別表1号）を図り、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成26年度事業の実施概要を記載する。</p>	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業（定款第4条第1項第1号）	
1. 栄養・健康に関する調査研究事業	
1-1 栄養指導研究所の運営（学術部）	
<p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、職域事業部における研究事業の推進および栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの事業の充実に努めた。</p> <p>また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しなどを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興	
2-1 千葉県栄養改善学会の開催（学術部）	
<p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の学術的な知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導、給食管理、食事療法などの充実を目指した。平成26年度は、27年2月7日(土)千葉県立保健医療大学において「日本人の食事摂取</p>	

基準2015年版～エネルギーの改定等～」と題し 慶應義塾大学スポーツ医学研究センター教授：勝川史憲氏の特別講演と、「私の実践活動から ～臨床栄養士業務を振り返って～」と題し聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科教授：宮本佳代子氏の教育講演を実施した。また会員からの一般口演（26演題）と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は177名であった。

前年度に比べ、一般口演数は8題、参加者数は約40名増加となり、会員の熱気溢れる充実した学会となった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催（福祉）

11月11日(火)、千葉市蘇我勤労市民プラザにおいて、食育媒体の考案と作製、実演の仕方を学ぶことにより、食育指導技術の向上を目的に実技研究会を開催した。1日研究会に34名が参加してエプロンシアターの媒体を作製し、実演方法を学んだ。講師は長年、継続的にご指導いただいている手芸家であり食育指導士の板良敷信子氏にお願いした。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

平成26年度は、27年2月12日(木)に千葉県栄養士会事務所において、介護に至らない生活を送るために、栄養士・管理栄養士が提案できる日常生活の中で身体活動を高めるための方策を研究した。併せて、食生活指導のために県内で傳承されている郷土料理の理解を図り、指導方法を研究した。参加者は15名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、業務に活用することを目的として、食と栄養に関する実用技術などの学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践報告、職場だより（活動報告）、健康日本21（第2次）計画の概要などを掲載し、栄養千葉発行に併せて3回（4月、8月、12月）発行した。記事は、県民や栄養士・管理栄養士に読んでもらうことができるようにホームページに掲載するとともに、掲示板に掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日ごろの治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮や治療の向上に役立てることを目的に、10月26日(日)東千葉メディカルセンターにおいて35名が参加して開催した。内容は、研究発表8題と特別講演として、「知って得する漢方の話」と題し、松戸市立福祉医療センター東松戸病院内科字津見和郎氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成25年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピのうち、広く普及することが必要と思われるレシピ31品を四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民 ②栄養士・管理栄養士 ③事務所掲示板、ホームページ ④開発 ⑤栄養士・管理栄養士 ⑥単独 ⑦非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成26年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策推進協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品安全・安心協議会、千葉県留置施設委員会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、全国高等学校総合体育大会千葉県実行委員会、宿泊・衛生専門委員会、千葉県介護専門員協議会

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成26年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会（市民健康づくり大会）、千葉市学校給食給食センター運営委員会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として行った。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの登載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施にあたっては、適宜、関連諸科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容				
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業				
定款上の根拠	第4条第1項第2号				
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係				
6号	<p>本事業は、「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。</p> <p>健康増進法(平成14年8月2日法律第103号)第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことを挙げているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。</p>				
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】					
<p>この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する。</p> <p>以下に記載する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連し相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成26年度事業の実施概要を記載する。</p>					
Ⅱ. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業(定款第4条第1項第2号)					
1. 継続教育・生涯教育事業—基幹研修制度					
1-1 生涯教育研修会の開催(学術部)					
<p>栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立つ能力を身につけることである。生涯教育は「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修に分けられ、平成26年度は、基幹教育として必須科目6単位を含む18単位を6月14日(土)、7月6日(日)、8月9日(土)、9月7日(日)、9月27日(土)の5日間にわたって開催した。受講者数182人で、延べ取得単位は1,786単位であった。</p> <p>開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募集した。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>					
1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施(事業部・地域活動)					
<p>「インスタントラーメン『健康と栄養セミナー』」を9月29日(月)に蘇我勤労市民プラザにおいて、県民、栄養士・管理栄養士を対象に行った。</p> <p>【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、食の専門家 ⑤共催 ⑥非該当】</p>					
1-3 保健指導担当者等業務向上研修会の開催(学術部)					
<p>保健指導担当者などのスキルアップのための研修は、生涯教育研修会に組み入れて実施した。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】</p>					
1-4 栄養士・管理栄養士研修会(総会時特別講演)(総務部)					
<p>定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演をいただくことを目的に、平成26年度は総会式典終了後に「(公社)日本栄養士会の将来構想と実現に向けた取り組み」と題して、日本栄養士会 小松龍史会長に講演をいただいた。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④講師は大学教授または専門家 ⑤協力 ⑥非該当】</p>					
2. 特定職域・特定種類業務研修事業—職域研修制度					
公衆衛生事業部					
(1) 中央研修会					
期 日	事 業	内 容		会 場	出席数
平成26年 4月24日(木)	第1回 中央研修会	講演 「日々のイライラをコントロールする方法」 ～日常業務やプライベートでも活用しましょう～	講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 公認ファシリテーター 菅野 昭子	ホテルプラザ 菜の花	54名 (他事業部 1名)

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
		説明 「平成26年度健康づくり・栄養改善事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 副主幹 加藤木 好美		
平成26年 10月11日(土)	第2回 中央研修会	事例発表 ① 「銚子市で始めたもぐもぐクラスについて ～離乳食を上手に進める取組を目指して～」 銚子市健康福祉部健康づくり課 主任技師 宮内 真紀 ② 「第2次千葉市食育推進計画について」 千葉市保健福祉局健康部健康支援課 主任栄養士 永田 美由紀 講演 『日本人の食事摂取基準（2015年版）について』 講師 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 教授 渡邊 智子	千葉県教育会館	113名 (他事業部 19名 会員外 10名)

(2) ブロック研修会

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
東 葛	平成26年 6月10日(火)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 給食施設指導事業について 「保健活動・保健事業計画書」を使用した 給食施設指導事業（事業所）の検討 (2) 情報交換等	習志野市健康福祉センター	7名
	7月7日(月)	【市町村栄養士業務検討会】 (1) 各市実施業務について ① 26年度重点および新規事業中心に ② 地域防災計画について (2) 情報交換等 (3) 次回テーマについて	習志野市保健会館別館	15名
	9月16日(火)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 「給食施設指導事業について」 ① 東葛ブロック保健所共通啓発資料「肥満・やせの把握方法について」リーフレットについて ② 事業進捗状況の確認 ③ 事業評価方法の検討	習志野市健康福祉センター	7名
	平成27年 1月19日(月)	【市町村栄養士業務検討会】 (1) 各市実施業務について ① 栄養重点目標設定状況について ② 食生活改善推進員の育成、活動状況について (2) 情報交換 (3) 次年度テーマについて	野田市保健センター	14名
	3月9日(月)	【保健所栄養士業務検討会】 (1) 事業所給食施設の評価指標について (2) 肥満とやせの割合把握集計結果について (3) 平成27年度東葛ブロック業務検討会について (4) 情報交換	市川市健康福祉センター	7名
利 根	平成27年 1月13日(火)	【健康福祉センター業務検討会】 「給食施設指導事業について」	香取健康福祉センター	4名
		講演会 講演 「妊娠中の栄養と生活習慣病」 講師 早稲田大学総合研究機構研究院 教授 福岡 秀興	香取健康福祉センター	29名 (他事業部 2名) 会員外 1名)
黒 潮	平成26年 8月27日(水)	【健康福祉センター業務検討会】 「給食管理について」 【市町村業務検討会】 「糖尿病の取り組みについて」	長生合同庁舎 3階 第1・2会議室	16名
	平成27年 1月26日(月)	(1) 事例発表 ① 「食環境から見る高齢者の支援の検討～男の料理教室～」 勝浦市介護健康課 健康管理係 主任栄養士 三浦 アサ子 ② 「保健推進員とすすめる食育活動について ～子育て世代への取り組み～」 芝山町福祉保健課 保健衛生係 主任栄養士 小関 陽子 (2) 業務検討 「健康教室等での教材（媒体）活用状況について」	長生合同庁舎 4階大会議室	19名

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出席数
さざなみ	平成26年 6月13日(金)	【健康福祉センター業務検討会】 「栄養表示基準に係る指導について」 【市町業務検討会】 「食生活改善推進員の活動内容と行政の支援方法について」 (事例発表) 「栄養と歯科の協働で取り組む食育の推進」 ～よい歯でモグモグ教室～ 木更津市健康推進課 榎本 純子	安房健康福祉 セ ン タ ー	17名
	9月8日(月)	【健康福祉センター業務検討会】 「病態栄養教室の取り組みについて」 【市町業務検討会】 「介護予防について」 (事例発表) 「神経難病患者と家族を対象とした病態栄養教室の 効果的なあり方について」 市原健康福祉センター 宮崎 良子	市原健康福祉 セ ン タ ー	13名
	平成27年 2月23日(月)	【健康福祉センター業務検討会】 「給食施設指導（集団指導）について」 【市町業務検討会】 「災害マニュアルについて」～行政栄養士の役割～ 講演会 講演 「慢性腎臓病について」 講師 千葉県立循環器病センター 腎臓内科 部長 今村 茂樹	君津健康福祉 セ ン タ ー	16名 21名
千 葉 市	平成26年 6月9日(月)	介護予防事業について	千葉市保健所	13名
	7月14日(月)	介護予防事業について	千葉市保健所	11名
	9月8日(月)	行政栄養士業務指針を踏まえて ～現任教育の見直し～	千葉市保健所	13名
	11月17日(月)	行政栄養士業務指針を踏まえて ～現任教育の見直し～	千葉市保健所	10名
	平成27年 2月9日(月)	行政栄養士業務指針を踏まえて ～現任教育の見直し～	千葉市保健所	12名

医療事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 4月26日(土)	研 修 会	講演 「診療報酬改定－今後の展望－」 講師 (公社)日本栄養士会 医療事業部 企画運営委員長 石川 祐一	千葉市商工会議所	56名
7月5日(土)	プラクティス セ ミ ナ ー	講演 「肝臓病の栄養管理」 講師 獨協大学越谷病院内科 准教授 鈴木 尙知	千葉市商工会議所	42名
平成27年 1月18日(日)	臨床栄養研修会	講演 「急性期の栄養管理II」 講師 近森病院 臨床栄養部部长 宮澤 靖	千葉市生涯 学習センター	62名
2月21日(土)	京 葉 地 区 リ ー ダ ー 育 成 研 修 会	講演 「CKDの診断基準とその治療」 講師 帝京大学医学部 腎臓内科教授 北村 真	千葉市文化 セ ン タ ー	47名 (会員外1名)

地区研修会

地 区	開催日	内 容	会 場	出席数
千 葉 地 区	平成26年 9月17日(水)	「最近の糖尿病治療の話題」 講師 千葉大学医学部付属病院 石川 耕	井上記念病院	32名
東 葛 南 部	11月8日(土)	「栄養指導に必要なコミュニケーションスキル」 「千葉県脳卒中地域連携バスとその運用」 講師 済生会習志野病院 古川 聡子 新八千代病院 大嶋 晶子	済生会習志野病院	36名
	平成27年 1月30日(金)	「栄養指導に必要なコミュニケーションスキル」 「大豆が明日のあなたにできること」 講師 済生会習志野病院 古川 聡子 (株)マルサンアイ	済生会習志野病院	11名
東 葛 北 部	12月12日(金)	「糖尿病の食事療法 低GIを活用しよう」 講師 東京慈恵会医科大学附属柏病院 栄養部課長 林 進	さわやか 千葉県民プラザ	30名

地区研修会

地区	開催日	内 容	会 場	出席数
印 旛	9月25日(木)	「透析患者の水分補給」 講師 みはま病院 尾坂 雅美	佐倉ミレニウム セ ン タ ー	12名
香 取 海 匠	7月22日(火)	「カーボカウントの実際」 講師 渡邊 香織	旭 中 央 病 院	24名
	9月22日(月)	「患者に喜ばれる病院食を作ろう」 講師 国立循環器病研究センター 高田 彰	県立佐倉病院	22名
山武長生夷 隅	7月26日(土)	「超高齢化社会における食を考える 食品メーカーの立場から」 講師 (株)日東ベスト 内田 真帆子	東千葉メディカル セ ン タ ー	15名
	11月27日(木)	「嚥下食の共通言語を学ぶ 嚥下調整食分類2013を中心に」 講師 (株)三和化学研究所 赤間 淳	生命の森リゾート日 本 メ デ ィ カ ル ト レ ニ ン グ セ ン タ ー	12名
安 房	6月19日(木)	「嚥下食と嚥下調整食について」 講師 (株)ニュートリー 鈴木 亜紀	菜の花ホール	25名
君 津 市 原	7月3日(木)	「糖尿病性腎症の診断と治療」 講師 千葉県立青葉病院 山本 恭平	玄々堂君津病院	40名
	11月21日(金)	「初診の患者さんに聞きたい情報とは」 講師 君津中央病院 伊藤 千穂	君津中央病院	13名
	平成27年 2月10日(火)	「姿勢と健康について ～pilatesとは～」 講師 カレントヨガピラティススタジオ 代表 松田 洋平	居宅介護支援事業所 山の手グリーンヒル	18名
	3月5日(木)	「糖尿病透析予防の効果～栄養指導はどのくらい有効か」 講師 玄々堂君津病院 荻野 良郎	玄々堂君津病院	26名
		延べ件数16件	延べ参加数 340名	

学校健康教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 5月10日(土)	研 修 会	「牛乳・乳製品を学校給食に生かすために」 講師 井福 恵子	千葉県教育会館	20名
6月28日(土)	研 修 会 (研究教育 協賛参加)	「給食施設におけるアレルギー対応を考える」研修会 講師 稲月 彰子 林 典子	和洋女子大学	24名 (会員外6名)
11月21日(土)	勉 強 会	千葉県学校保健学会勉強会 「ワークショップ指導教材作成」	千葉県教育会館	26名 (会員外13名)
平成27年 2月21日(土)	勉 強 会	栄養教諭・学校栄養職員勉強会 「児童・生徒が解りやすい授業の進め方」	千葉県学校給食会	90名 (会員外40名)

福祉事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 4月24日(木)	研 修 会	講演 「寒天の健康機能～食物繊維とアガロオリゴ糖～」 講師 伊那食品工業株式会社 次長 伊藤 勉 事例報告 「ミキサー寒天について」 特別養護老人ホーム松寿園 管理栄養士 伊藤 光子	千葉市民会館	48名
7月10日(木)	研 修 会	講演 「知っておきたい食物アレルギーの基礎知識」 講師 キューピー株式会社 研究開発本部 技術研究所 健康栄養研究部 獣医師 木村 守 事例報告 「千葉市保育所におけるアレルギーの対応について」 千葉市都保育所 総括主任栄養士 豊田 好江	千葉市民会館	75名 (会員外14名)
平成27年 1月20日(火)	研 修 会	講演 「栄養士業務におけるコミュニケーション法」 講師 ソーシャル・ネットワーク(株) 代表 小森 まり子	千葉市文化 セ ン タ ー	25名
1月18日(日)	研 修 会 基礎講座	ファーストステップ研修会(京浜ブロック) 日本栄養士会福祉事業部が開催する 中堅者研修の基礎研修	東京医科歯科大学	74名 (千葉県26名) (会員外2名)
2月28日(土)	演習①②1班	基礎講座		
3月1日(日)		演習①6時間以上グループワーク 演習②6時間以上グループ発表		
4月4日(土)	演習①②2班			
4月5日(日)				

勤労者支援事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 4月26日(土)	見 学 会	有機野菜を使った料理の試食 万葉集の植物と展示コーナーの見学	自然の食卓 市川万葉植物園	4名
11月30日(日)	見 学 会	自衛隊関連の情報を取り入れた研修「ミリめし」の今についての見学と試食	陸上自衛隊広報 センター りっくんランド	6名
平成27年 3月24日(火)	見 学 会	無洗米の製造などについて 見学と実演イベント	東洋ライス サイタマ工場	5名 (他事業部1名) (会員外1名)

地域活動事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 4月26日(土)	研 修 会	千葉市の介護予防事業から学ぶ健康支援について 千葉市緑保健福祉センター 中村 早織 千葉市中央保健福祉センター 大和田 美幸	千葉市蘇我勤労 市民プラザ	43名
5月29日(土)	視 察 研 修 会	江戸時代後期から明治初期における房総の商家・武家屋敷・農家などの生活文化を学んだ後地域の食材を使った料理の研修	房 総 の む ら シャトー 神谷	17名
10月22日(土)	視 察 研 修 会	栄養に関わる指導の基本情報を提供する研究機関の見学、および健康食品について 情報センター長 梅垣 敬三	国立健康・栄養 研 究 所	19名
12月3日(水)	研 修 会	たばこと健康 健康支援を進める上の基本について 千葉県立保健医療大学 教授 長谷川 卓志	栄養士会事務所	14名
平成27年 1月25日(土)	情 報 交 換 会	庭と料理、和食のしつらえを体感し、季節を表現する食事を食べながら、参加者同士で情報の交換を行った 花長 料理長 吉田 幸男	「花 長」 千 葉 市 内	18名
7月、11月、 3月	情 報 紙 発 行	157号～159号 各300部		

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出席数
平成26年 10月14日(火)	健康づくり研修会	講演 「食事摂取基準2015について」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子	千葉市総合保健 医 療 セ ン タ ー	228名
12月5日(金)	病態栄養研修会	講演「千葉大学医学部付属病院の現任教育の実践について」 講師 千葉大学付属病院臨床栄養部 管理栄養士 佐藤 由香 管理栄養士 小倉 香名	千葉市総合保健 医 療 セ ン タ ー	129名

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業の担い手となる人材の層を厚くするため、栄養士・管理栄養士が主体的にこの事業に参加する状況をつくるには、事業の意義や本会の必要性への理解を絶えず働き掛けることが欠かせない。そのための活動として、栄養士・管理栄養士の職業倫理や使命、業務の意義、公益目的事業の内容、職域事業部の活動などを紹介することを目的として作成した「入会のおすすめ」などを使って資格を持つ者に入会を働き掛けた。医療事業部、福祉事業部の協力を得て県内の施設名簿を活用して未加入者への入会案内文書の発送などを行い4名が入会した。

また、養成施設7校の協力を得て新たに資格を持って働くことになる卒業予定者に「入会のおすすめ」の配布を行うとともに、時間を設けていただいた養成施設3校には、会長が出向いて直接卒業予定者に専門職業人として継続して研修を積む必要性、そのためには組織に入会することが必要であることなどについて説明して理解を得ることに努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、研修などの内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページや掲示板、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質を確保した。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設の相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みなどをとおして、県民の健康で裕り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9)にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9)にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動とおして、本会は、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。</p> <p>以下に記載する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業が相互に密接に関連し相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成26年度事業の実施概要を記載する。</p>	
Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業(定款第4条第1項第3号)	
1. 個別特性対応型の自立支援事業	
1-1 テレフォン栄養相談事業(広報部)	
<p>第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載するほか、千葉県中小企業中央会「情報紙」に掲載した。また、「湯けむり横丁・みはま」の協力を得て、引き続きカタログスタンドを設置して案内チラシを置いた。併せて、食育健康料理教室、講演会などで名刺サイズの広告やチラシの配布も行った。平成26年度の相談件数は20件であった。相談内容は、生活習慣病や調理法に関するものが多かった。</p> <p>【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ他 ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-2 特定保健指導の実施(総務部)	
<p>前年度に引き続き中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を、延べ21名(動機づけ12名、積極的支援9名)に対して実施した。</p> <p>【①県民 ②依頼者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
1-3 介護予防栄養改善事業の実施(総務部)	
<p>平成26年度は、25年度まで実施した町の事業の見直しが行われ、当該事業は実施されなかった。</p>	
1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業(事業部)	
<p>日本赤十字千葉支社の依頼を受け、低ヘモグロビンにより献血ができなかった方を対象に、船橋、津田沼、柏、千葉の日赤出張所4会場において延べ12名が担当して健康相談を33名に行った。相談の結果、食生活が改善され再来時には、献血を行うことができた方も多く見受けられた。</p> <p>【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	
2. 集団特性対応型の自律支援事業	
2-1 千葉市ヘルシーカムカム2014への協力事業(千葉地域)	
<p>歯と口の健康週間の行事として千葉市、千葉市歯科医師会の主催により、「ヘルシーカムカム2014」が5月25日(日)そごう千葉店の6階特設会場で開催され、2,776名が来場した。本会は、千葉市教育委員会など4団体とともに共催団体として開催に加わり、「楽しい食事の紹介」のコーナーを5名の会員が協力して、市民の歯から始まる健康づくり思想の高揚に努めた。「歯の健康を保つ食事」と題したパネルと「食事バランスガイド」(食品模型)と食事の実際例を展示し、子どもたちに好評を得た。コーナーへの来</p>	

場者は242名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 千葉県健康づくり大会への協力事業（千葉地域）

健康づくりに関する知識の普及啓発のため、今年度は「健やか未来都市をめざして まず10分、体を動かす時間を増やそう」をテーマとして10月18日(土)に千葉市きぼーるにおいて開催され市民2,330名が来場した。本会は健やか未来都市ちばプラン推進協議会の構成員として催しに協力し、健康フェアにおける食生活コーナーの運営、病態栄養相談の実施、親子料理教室の運営を行い、市民の健康づくりに寄与した。食生活コーナーにおいて「野菜を食べよう！～生活習慣病予防は子どもの頃から～」をテーマにパネルや食品模型の展示の他、野菜を量る体験や健康クイズ、試供品などの配布を行った。コーナーには255名が来場し、72名に病態栄養や食生活の相談を行った。これらの運営には8名の会員が協力した。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-3 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間にあたり、千葉県・（公財）ちば県民保健予防財団・千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が、9月13日(土)～14日(日)イオンモール幕張新都心ファミリーモールにおいて開催された。開催地域の千葉市の公衆衛生および医療事業部会員5名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談と、食生活コーナーにおいて「野菜を350g量ろう」を行い好評であった。参加者は2日間で延べ9,552名であった。相談、食生活コーナーには、2日間で43名が訪れた。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-4 地域健康づくり推進事業（医療）

県内各地区の活動として、関係団体などと協力して展示、食生活相談などを次のとおり行った。東葛南部地区：9月27日(土)済生会習志野病院において「健康フェア」が開催され、展示、栄養相談を実施した。香取海匠地区：5月17日(土)銚子イオンにおいて「看護の日」の催しが行われ栄養相談を行った。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言、その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

2-5 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う「看護の日」の行事に協力して、5月17日(土)アパホテル幕張において、2名の会員が栄養相談コーナーを担当した。相談件数は32件であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-6 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により、9月25日(木)に千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。大会は2部構成とし、1部は「大会式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、千葉県衛生研究所 技監 佐藤眞一氏による「元気で長生きをする食事と生活」の講演を行い、主催団体会員および県民343名が参加した。

【①県民、 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-7 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に、生活習慣病を予防し、健康を維持増進するための知識を深め、望ましい食生活の実践を支援することを目的として開催した。11月8日(土)、千葉県立保健医療大学を会場に、講座1：「からだにやさしい食事・からだをいじめる食事」千葉県栄養士会参与の江尻喜三郎氏、講座2：「健康づくりと休養・睡眠」千葉県栄養士会会長・長谷川克己氏、講座3：「健康づくりのために身体を動かそう」和洋女子大学健康栄養学類健康栄養学専修助教の難波秀行氏による講演を行った。参加者は36名であったが、それぞれの講義が分かりやすく、そして楽しい展開で、自らの健康維持・増進に役立つ内容であり、県民の健康づくりの実践活動に資する講座となった。

より多くの県民の参加が得られるよう、インターネットのほか、県内関係機関などの協力を得て広報に努めた。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布、③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 食育健康料理教室の開催（事業部）

今年度はちば県民保健予防財団の「ちば県民保健予防基金」の助成を受けて、県内15か所で開催することとした。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、「ちばの野菜で元気もりもり」をテーマに統一メニューを作成、運営は昨年引き続き講師を含むスタッフ5名で行うこととし、9月～2月に15会場（船橋市、八千代市、市原市、成田市、市川市、松戸市、酒々井町、我孫子市、千葉市、安房）で開催し、参加人数は306名（大人272名、小人34名）でいずれの会場も好評を得た。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシ等の配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-9 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

平成26年度は4件の依頼に対して8名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-10 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は、7月8日(火)に我孫子市湖北小学校の親子30名、8月1日(金)に市川市立真間小学校にて小学校・中学校・特別支援の親子63名、2月13日(金)に南房総市立和田小学校、南三原小学校にて各小学校の親子80名が参加した。

いずれも学校給食の献立を調理実習の教材として取り入れて行った。子供達はおぼつかない手つきではあったが、真剣に楽しく行

っており、親御さん達も楽しそうにサポートをしていた。学校給食の献立は、不足しやすい栄養素や家庭では使う頻度の少ない食材も工夫して取り入れていることから、このような機会を活用して紹介していきたい。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験学習（料理教室）、講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-11 第1回講演会「最新栄養学トピックス1」の開催（研究教育）

6月28日(土)、和洋女子大学において、講演会「給食施設におけるアレルギー対応を考える」を開催し、169名が参加した。講師は国立病院機構下総精神医療センター栄養管理室長：稲月彰子氏と国立病院機構相模原病院管理栄養士：林典子氏にそれぞれの立場から給食施設でのアレルギー対応について講演をいただいた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-12 第2回講演会「最新栄養学トピックス2」の開催（研究教育）

平成27年3月14日(土)～15日(日)に和洋女子大学において日本健康体力栄養学会が「エビデンスに基づく身体活動促進の最新の動向」をテーマとして、食事摂取基準2015エネルギーと身体活動基準2013の接点を中心としたシンポジウム・講演会が開催されることになり、千葉県栄養士会の生涯教育の単位が認定されることから、参加し栄養学の最新情報から会員の知識の向上を目指すこととした。会員9名、学生149名の参加があった。

【①県民 ②主催者による広報 ③講座・セミナー ④関連専門職 ⑤生涯教育の単位認定 ⑥非該当】

2-13 千葉県食育の日事業への協力（千葉地域）

食育月間の行事として千葉県主催で市内関係団体との協力により、食育の推進を目的として「食育のつどい」が6月28日(土)千葉県稲毛区ワンズモールで開催された。本会は、食事バランスガイドと食育パネルの展示およびリーフレットや野菜を使ったレシピの配布、食生活相談などを行い好評を得た。来場者数6,484名、栄養士会コーナー来場者は523名であった。運営には会員6名（午前と午後）があたった。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-14 健康まつり行事への協力（千葉地域）

千葉市蘇我勤労市民プラザ主催で関係団体が協力して「SOGA癒しフェスタ2014～大人も子どももお仕事体験～」が12月13日(土)に開催された。本会は親子料理教室を行い、メニューはキャロットライス、タンドリーチキン、ツリーサラダ、きのこパスタのトマトスープ、りんごとマシュマロのオムレットケーキの5品で親子で楽しくおいしい体験ができた。9組22名が参加し、運営には5名の会員が担当した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

2-15 県下私立幼稚園食育推進への協力事業（事業部）

前年度に行った事業の報告を見た柏の幼稚園長から、講演の依頼を受け、1月に保護者など約50名を対象に講演を行い好評を得た。

【①県民 ②開催幼稚園の広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催 ⑥非該当】

2-16 介護食調理技能講習への協力事業（事業部）

公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会の依頼を受け、就業・就職を希望する高齢者の就業機会の拡大を図ることを目的に国の事業として行われるこの「介護食調理技能講習」事業について1会場を受託した。昨年の日程を基に昨年度担当した者に若干名選任して担当者会議を開催し、介護食の調理にあたっての基本的な事柄や衛生管理・演習を充実させたカリキュラムを作成した。実施方法・テキストや演習教材の検討、作成についても分担して準備を進め、京葉調理師学校において11月10日～14日、11月17日～18日の7日（うち調理実習2日間を含む）にわたって20名に講習を行い好評を得た。

【①県民 ②シルバー人材センターなどの行う広報 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-17 ミルクでおいしく減塩＝乳和食のすすめ研修会の開催（福祉）

12月3日(水)、千葉県消費生活センターにおいて、一般社団法人Jミルクの協賛と千葉県、千葉市ほかの後援を得て調理実習と講演2題を行い、栄養士・管理栄養士、県民合わせて56名が参加した。調理実習は、管理栄養士・料理家：小山浩子氏の指導によりミルクを使用して塩分が少なくてもおいしく食べられる献立6品を、午前、午後の2班に分かれて行った。

講演は、「牛乳は血圧を下げるか？」と題してJミルク参事：佐野晴彦氏、「健康長寿のための減塩と栄養を考える」と題して千葉大学大学院教授・医学部附属病院副病院長：横手幸太郎氏の2題を行った。調理実習、講演ともに有意義で実り多い研修会となった。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④管理栄養士、専門家 ⑤主催 ⑥非該当】

2-18 日本栄養士会との共同研修事業（事業部、地域活動）

「インスタントラーメン『健康と栄養セミナー』」を9月29日(月)に蘇我勤労市民プラザにおいて調理実習、講演会を実施した。メニューは生きゃべつたっぷりラーメン、ミルクラーメン、ねばねばラーメン、ミネストローネ風ラーメンを実習し講師は山形礼子氏で36名の参加があった。講演会は森野熊八氏による講演「大人の食育」でパフォーマンスたっぷりの充実した内容で参加者は104名であった。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、食の専門家 ⑤共催 ⑥非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページ運営委員会を3回開催し運営方法の充実に努める中で、多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養を通じた健康づくりに役立つ情報の提供に努めた。

各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、平成25年度に開催した食育・健康料理教室で実施したレシピの中から31品を「地産地消レシピ」として掲載した。

また、トップページの見直しを行い、知りたいものをすぐ検索できる工夫を行った。さらに、「現代食事考：かしこく食べる」の内容の見直しと、スマートフォンへの対応を図ることとし、より多くの者が利用できるよう改善を行った。

【①県民 ②事務所掲示版、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報に年間執筆計画を基に、国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用などに関する記事を会員の協力を得て提供した。平成26年度は、53回分の記事提供となり、掲載された記事は、冊子として作成し役員に配布した。内容は、千葉日報のホームページに掲載され、本会のホームページとリンクされている。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

NHK千葉放送局の依頼を受け、従来とは異なり日程を定めずに千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」への協力を行うこととしていたが、平成26年度は依頼がなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

千葉地域事業部と協力して、食生活の改善や疾病の予防に関するパネルの作成を行い、地域の健康づくりのイベントや職場の健康づくりに関する行事を容易に開催することの支援のため、栄養千葉、ホームページなどで紹介して貸し出しを行っている。平成26年度は、新規パネルの作成は行わなかった。貸し出しは4カ所に行った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネルの作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業中央会情報紙「中小企業ちば」の『食と健康ワンポイント』欄に「夏を元気に」、「がん予防12ヶ条」など、年4回記事を提供した。併せて「健康づくり食生活講演会」、「健康づくり栄養講座」の案内を掲載し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②千葉県中小企業中央会「情報誌」 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

千葉市・美浜区の湯けむり横丁・みはまと連携して、毎月発行される「湯けむり新聞」に「食べる健康法」と題して、年間執筆計画を作成し記事を提供した。利用者および近隣地域住民に食と健康に関する情報を提供し好評を得ている。併せて、施設のお知らせコーナーへ「生活習慣病を予防する食事」をはじめとするリーフレット、テレホン栄養相談の案内チラシなどをカタログスタンドを設置して置き、健康づくりに関する情報の提供に努めた。

【①県民 ②湯けむり新聞 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的としている。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施にあたっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや掲示板、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師には定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に関係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の概要」欄に記載した一連の取り組みなどをおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。

事業番号	事業の内容
19号	<p>る。</p> <p>本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。</p>
<p>事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】</p>	
<p>県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2)2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3)3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことをとおして、県民の食環境を望ましいものにするべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業が相互に密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、平成26年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）</p>	
<p>1. 連携構築事業</p>	
<p>1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）</p>	
<p>医療機関・団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する事業推進を通じて、連携強化を図った。平成26年度の状況は以下の通り。＜関係機関・関係団体＞</p> <p>（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会、（公財）ちば県民保健予防財団＜関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織＞</p> <p>千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議、＜催しへの協力＞以下の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。</p> <p>（一社）千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」、千葉県歯科衛生士会主催：「かむ子・のびる子・元気な子」料理コンクール</p> <p>【①県民 ②主催団体の広報、③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）</p>	
<p>特定給食施設でともに働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、平成12年から（一社）千葉県調理師会の行う調理師試験対策事業に協力することとし、「調理師試験対策委員会」を設置して必要な事業を行っている。内容は、受験準備講習会において7科目を担当する運営協力と「調理師試験問題の正解と説明」の作成などを行うこととし、平成26年度は、県内13会場で開催された講習会に延べ63名の管理栄養士が講師を務めた。試験問題の正解と説明は、試験対策委員の協力を得て作成して提出した。また、ヘルシーメニューの栄養価計算の依頼を受け、実施した。次年度における、これらの事業を円滑に行うため、27年2月20日(金)調理師会との合同会議を開催した。</p> <p>【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】</p>	
<p>2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業</p>	
<p>2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）</p>	
<p>栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い栄養士・管理栄養士の研究を奨励、振興を図ることを目的に栄養改善奨励賞の授与を行うこととしている。平成26年度は第15回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演26題を対象に推薦委員会を開催して審査を行い、次の6題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、平成27年度定時総会式典において表彰することとした。</p> <p>決定した内容は、口演3 給食を教材にした、ジュニア期の栄養指導について ○上野理恵（船橋市立旭中学校）、丸敏美（船橋市立三山中学校）、口演4 乳幼児の生活時間・食習慣調査 ○黒岩明美、時田由美子（千葉市保育所栄養士会）、口演9 当院における糖代謝異常妊婦への管理栄養士介入の現状 ○岸由香里（君津中央病院臨床栄養部）、中園倫弘（同医事課）、櫻井健一（同内分泌代謝科）、口演11 当院における糖尿病透析予防指導の継続率と有効性について ○荻野悟、高橋友美、渡邊真紀、城之内清美、西井大輔（玄々堂君津病院栄養科）、口演23 食に関する指導の効果的なあり方～野菜の大切さを知り進んで食べようとする子どもの育成 江波戸史子（八千代市立大和田小学校）、口演24 船橋産食材を活用した食に関する指導～「船橋産食材の1年」をもとにして～ 口野佳奈（船橋市立法典西小学校）であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>3. 適正な食生活を支援する制度の整備</p>	
<p>3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）</p>	
<p>千葉県における栄養教諭は平成18年に5名が配置され、26年度は166名までに増員されてきた。栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、引き続き栄養教諭へのアンケート調査（栄養教諭の配置に伴う成果などに関する実態調査）を実施し、その結果を添付し11月26日に千葉県教育委員会担当課へ学校栄養職員の栄養教諭免許取得者の全員を栄養教諭として採用することなどの要望書を提出した。</p> <p>【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）</p>	
<p>日本栄養士会の作成した要望書を基に地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくり施策の進展を目的に、千葉県健康福祉部主管課、保健センターおよび関係市町村担当者などとの共同により、保健所管理栄養士の配置促進や、市町村行政栄養士の複数配置について、4町に要望活動を行った。平成24年度からの活動により、2町に2名行政栄養士が配置され、26年度において県内すべての市</p>	

町村に行政栄養士が配置された。

【①県民 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるようにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与すると目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などの定期的な開催を図り、執行体制の強化による事業の充実に努めた。平成26年度は、役員の変更が行われたことから業務の手引きの改定を行い、第4回理事会当日の午前に役員研修会を実施し事業の執行に関し理解を深めた。

1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局職員2名の退職に伴いハローワークを介して職員を採用したが、9月に1名が退職して補充できない状態が続き、事務局業務の標準化や効率化により対応してきた。1月になって3月中旬に1名の退職の希望が出されたことから、京浜地区他県を参考にして、事務局職員の勤務体制を従来の週3日勤務から、月曜日から金曜日までの午前または午後いずれかの4時間勤務とすることについて理事会で決定し、会員管理事務または会計事務を担当することとして再度ハローワークなどに依頼し応募者に面接を行って、2月、3月に1名ずつ採用して対応した。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

7月26日(土)職域事業部事務担当者会議当日の午前に職域事業部の役員を対象に中堅役員の研修会として「日本栄養士会が目指す栄養士・管理栄養士の将来像」などの研修を行った。

午後からは、各部合同により事務担当者会議として本会の事業および組織運営など基本的事項について説明、グループワークなどを行って理解を深め、新任の職域事業部役員への理解浸透を図った。

会計担当者会議は6月28日(土)に開催し、職域事業部における会計処理の方法等について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。

1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

組織・財政検討委員会を定期的に開催し、第3次組織強化長期計画に基づいた、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化、事業の充実などについて検討を行った。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報「栄養千葉」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載し、協賛会員対策の充実に努めた。また、協賛会員との相互理解を深めることを目的に、新春賀詞交歓会を1月17日(土)に開催し、来賓、協賛会員、会員を合わせて100名が参加した。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会の進めるJDA-DAT事業への参加やスタッフ研修会の開催などは行うことができなかった。また、特定給食施設の非常災害に備えた体制の整備に関する情報の提供、地域住民に対する非常災害時支援活動方法などの検討については実施することが出来なかった。

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行ったが、26年度の利用者は370名（昨年より11名減）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費削減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書発送を行うとともに、各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化を図った。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

平成26年度は会員からの相談はなく、委員会を開催する機会はなかった。

1-11 日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備（総務部）

定時総会において定款変更を行い職域協議会を職域事業部に、支部を地域事業部と変更したことから、これらに係る部分の規約の改正を7月の理事会で行った。また、公益法人室の立入検査に備え、講師等謝金支払基準の制定、就業規則の見直しと付随する各種様式の制定などを9月の理事会で行った。立入検査の結果を踏まえ次期定時総会での定款変更の準備、会計処理規程の実態に合わせた改正などを平成27年1月の理事会で行った。事務局職員の勤務形態の変更に伴い職員就業規程の変更を3月の理事会で行うなど規程の整備に努めた。

1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に116号～118号を発行した。効率的な紙面構成を推進し、ページの有効活用に努めた。

1-14 公益法人室立入検査への対応について

10月29日(水)午前10時～午後4時の間、千葉県総務部政策法務課公益法人室の立入検査が実施されることになり、依頼のあった「検査時に必要となる書類」および「立入検査実施に当たってのお願い」に記載される簿冊、資料などについて平成24年度から26年度までを整理し、立入検査を受けた。

特に、大きな問題はないとし、口頭にていくつか指摘を受け、定款の変更については、平成27年度定時総会において行うこととし、職域事業部の会計処理については、実態に合わせて会計処理規程を変更するなどにより対応した。役員就任時に必要とされた書類については、石井税理士より受領して次期の役員改選時から使用することとした。

2. 会議の開催

理事会

第1回 平成26年4月19日(土)

1. 平成25年度収支決算報告および監査報告について
2. 平成26年度定時総会の開催運営について
3. 平成26年度生涯教育研修会の開催について
4. その他

第2回 5月31日(土)

1. 会長、副会長（代表理事）の選定について

第3回 5月31日(土)

1. 平成26・27年度役割分担および顧問・参与の委嘱について
2. 平成26・27年度各種委員会委員の選出について
3. 平成26年度事業・会議予定について
4. 平成26年度事業の執行について
5. 平成26年度生涯教育研修会の開催運営について
6. その他

第4回 7月12日(土)

1. 平成26年度事業の執行について
2. 職域事業部および地域事業部会計処理について
3. その他

第5回 9月13日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり栄養講座の開催運営について
3. 千葉県栄養改善学会の開催について
4. その他

第6回 平成27年1月17日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成26年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 平成27年度生涯教育研修会の実施について
4. 法人設立40周年記念事業の実施について
5. 平成27年度事業計画・収支予算案の作成について
6. 平成27年度定時総会の開催について
7. 平成26年度収支見込みについて
8. その他

第7回 3月21日(土)

1. 平成26年度事業報告案の作成について
2. 平成27年度事業計画・収支予算などの決定について
3. 平成27年度定時総会の開催について
4. 創立70周年・法人設立40周年記念事業の実施について
5. その他

部長会

第1回 平成26年5月17日(土)

1. 平成26年度定時総会の開催運営について
2. 平成26年度生涯教育研修会の開催運営について
3. 平成26・27年度役割分担について
4. 平成26・27年度各種委員会委員について
5. 平成26年度事業の執行について
6. 平成26年度事業・会議予定について
7. その他

第2回 6月21日(土)

1. 平成26年度事業の執行について
2. 会計処理について
3. その他

第3回 8月30日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. 健康づくり栄養講座の開催運営について
3. 千葉県栄養改善学会の開催について
4. その他

第4回 11月29日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成26年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 生涯教育研修会の実施について
4. 平成27年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成27年度定時総会の開催について
6. 平成26年度収支見込みと事業の見直しについて
7. その他

第5回 平成27年3月7日(土)

1. 平成26年度事業報告案の作成について
2. 平成27年度事業計画・収支予算案などの作成について
3. 平成27年度定時総会の開催について
4. その他

貸借対照表

平成27年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,790,680	11,849,396	941,284
未収金	0	203,810	△ 203,810
前払費用	413,708	438,744	△ 25,036
仮払金	553,068	0	553,068
流動資産合計	13,757,456	12,491,950	1,265,506
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	11,439,099	12,233,160	△ 794,061
基本財産合計	11,439,099	12,233,160	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,805,578	1,685,183	120,395
医療機関栄養業務実態調査預金	601,526	550,003	51,523
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,403,142	3,412,449	△ 9,307
特定資産合計	6,410,246	6,247,635	162,611
(3) その他固定資産			
什器備品	31,154	35,960	△ 4,806
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	331,154	335,960	△ 4,806
固定資産合計	18,180,499	18,816,755	△ 636,256
資産合計	31,937,955	31,308,705	629,250
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	127,860	145,800	△ 17,940
前受金	0	80,000	△ 80,000
前受会費	4,404,500	4,228,500	176,000
預り金	2,846,833	2,641,714	205,119
流動負債合計	7,379,193	7,096,014	283,179
2. 固定負債			
長期借入金	0	288,940	△ 288,940
退職給付引当金	1,803,670	1,683,670	120,000
固定負債合計	1,803,670	1,972,610	△ 168,940
負債合計	9,182,863	9,068,624	114,239
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	22,755,092	22,240,081	515,011
(うち基本財産への充当額)	(11,439,099)	(12,233,160)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(6,410,246)	(6,247,635)	(162,611)
正味財産合計	22,755,092	22,240,081	515,011
負債および正味財産合計	31,937,955	31,308,705	629,250

正味財産増減計算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	2,611	1,009	1,602
特定資産受取利息	2,611	1,009	1,602
受取入会金	108,000	117,000	△ 9,000
受取入会金	108,000	117,000	△ 9,000
受取会費	19,082,500	19,710,000	△ 627,500
受取会費	15,582,500	16,110,000	△ 527,500
協賛会費	3,500,000	3,600,000	△ 100,000
事業収益	7,771,958	8,882,652	△ 1,110,694
受取受講料 (会員)	2,652,500	2,274,600	377,900
受取受講料 (会員以外)	315,000	328,600	△ 13,600
受取分担金	1,138,514	990,096	148,418
受取業務手数料	3,044,944	3,948,355	△ 903,411
受取事業協賛金	370,000	430,000	△ 60,000
販売収益	91,000	22,000	69,000
雑収益	160,000	889,001	△ 729,001
受取補助金等	350,000	20,000	330,000
受取補助金	350,000	20,000	330,000
受取寄付金	0	523,500	△ 523,500
受取寄付金	0	523,500	△ 523,500
雑収益	130,928	1,040	129,888
受取利息	1,028	1,040	△ 12
雑収益	129,900	0	129,900
経常収益計	27,445,997	29,255,201	△ 1,809,204
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	4,832,830	4,137,808	695,022
臨時雇賃金	368,900	484,400	△ 115,500
退職給付費用	96,000	88,680	7,320
福利厚生費	436,545	400,325	36,220
会議費	728,904	752,686	△ 23,782
旅費交通費	1,430,234	1,705,318	△ 275,084
通信運搬費	1,414,131	1,287,392	126,739
減価償却費	559,207	601,451	△ 42,244
消耗品費	1,962,425	1,738,146	224,279
印刷製本費	1,028,766	975,791	52,975
光熱水料費	255,387	234,582	20,805
賃借料	630,000	665,100	△ 35,100
保険料	80,908	78,967	1,941
諸謝金	3,621,427	4,779,799	△ 1,158,372
会場費	768,076	424,930	343,146

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
リース料	382,516	426,990	△ 44,474
食料費	351,197	362,801	△ 11,604
支払負担金	347,418	272,978	74,440
渉外費	58,000	86,000	△ 28,000
表彰費	11,053	55,118	△ 44,065
租税公課	69,756	70,769	△ 1,013
支払利息	1,824	13,437	△ 11,613
消耗什器備品	57,017	0	57,017
雑費	134,418	177,312	△ 42,894
事業費計	19,626,939	19,820,780	△ 193,841
管理費			
給料手当	1,208,207	1,461,392	△ 253,185
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	31,320	△ 7,320
福利厚生費	109,136	141,386	△ 32,250
会議費	659,489	352,076	307,413
旅費交通費	189,388	277,405	△ 88,017
通信運搬費	259,545	260,975	△ 1,430
減価償却費	239,660	212,421	27,239
消耗品費	282,601	228,515	54,086
印刷製本費	1,578,402	1,517,098	61,304
光熱水料費	109,452	82,848	26,604
賃借料	270,000	234,900	35,100
保険料	5,424	4,719	705
諸謝金	841,022	763,589	77,433
会場費	126,195	113,090	13,105
リース料	163,935	150,804	13,131
食料費	842,349	791,612	50,737
支払負担金	104,110	79,958	24,152
渉外費	127,754	154,974	△ 27,220
租税公課	28,781	23,781	5,000
支払利息	748	4,745	△ 3,997
表彰費	28,232	26,330	1,902
消耗什器備品	10,355	1,180	9,175
雑費	95,262	74,962	20,300
管理費計	7,304,047	6,990,080	313,967
経常費用計	26,930,986	26,810,860	120,126
当期経常増減額	515,011	2,444,341	△ 1,929,330
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	515,011	2,444,341	△ 1,929,330
一般正味財産期首残高	22,240,081	19,795,740	2,444,341
一般正味財産期末残高	22,755,092	22,240,081	515,011
II 正味財産期末残高	22,755,092	22,240,081	515,011

財 産 目 録

平成27年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管 現金	運転資金として	15,040
		職域事業部・ 千葉地域事業部現金	運転資金として	361,423
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普2006576	運転資金として	513,585
		普2020609	運転資金として	96,846
		普3192700	運転資金として	204
		普3409598	運転資金として	343,202
		普3006299	運転資金として(千葉地域事業部)	6
		千葉銀行印西支店		
		普3458770	運転資金として(学校)	156,372
		千葉銀行松ヶ丘支店		
		普3335507	運転資金として(福祉)	81,837
		千葉信用金庫作草部支店		
		普0682242	運転資金として	321,645
		普0685151	運転資金として	551,273
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,122
		10570-30174421	運転資金として	1,285,828
		10530-10135981	運転資金として(公衆衛生)	118,188
		10520-49676711	運転資金として(医療)	0
		10550-52137101	運転資金として(勤労者支援)	4,000
		10520-54350591	運転資金として(地活)	0
	10550-67084701	運転資金として(研教)	4,300	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	225,224	
	00180-2-94011	運転資金として	8,165,861	
	00180-0-576091	運転資金として	495,724	
		【現金預金計】	12,790,680	
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000	
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	70,956	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	163,320	
	地主紅谷正男氏に対する前払額	地代4月分	75,000	
	千葉県教育会館他に対する前払額	各職域事業部経費の前払額	94,432	
		【前払費用計】	413,708	
仮払金	京葉事務器(株)に対する支払額	会計ソフトおよびパソコン	553,068	
		【仮払金計】	553,068	
流動資産合計				13,757,456
(固定資産)	基本財産			
	建物	115.7㎡ 千葉市若葉区殿台町122 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	11,439,099
			【基本財産計】	11,439,099

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	1,805,578
	医療機関栄養業務実態調査預金	千葉銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	601,526
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。 【特定資産計】	3,403,142 6,410,246
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	31,154
	敷金・保証金	紅谷正男に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として 【その他固定資産計】	150,000 150,000 331,154
固定資産合計				18,180,499
資産合計				31,937,955
(流動負債)	未払金	講師謝金および交通費 低比重者に対する健康相談業務手数料	健康相談業務の謝金交通費未払金 【未払金計】	127,860 127,860
	前受会費	会員からの預り額	平成27年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 51名分 医療 143名分 学校 28名分 福祉 87名分 勤労者支援 10名分 地活 108名分 研教 9名分 【前受会費計】	511,000 1,451,500 282,000 878,000 100,000 1,092,000 90,000 4,404,500
	預り金	会員からの預り額 26年度分 会員からの預り額 27年度分 税理士他からの預り額 職員からの預り額 講師からの預り額	日栄会費の預り額 14名分 日栄会費の預り額 414名分 源泉所得税の預り額 給与源泉所得税の預り額 源泉所得税の預り額 【預り金計】	91,000 2,691,000 21,441 20,330 23,062 2,846,833
流動負債合計				7,379,193
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの 【退職給付引当金計】	1,803,670 1,803,670
	固定負債合計			
負債合計				9,182,863
正味財産				22,755,092

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。

什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。

(2) 引当金の経常基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	12,233,160	0	794,061	11,439,099
小 計	12,233,160	0	794,061	11,439,099
特定資産				
退職給付引当資産	1,685,183	120,395	0	1,805,578
医療機関栄養業務実態調査預金	550,003	51,523	0	601,526
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,412,449	693	10,000	3,403,142
小 計	6,247,635	172,611	10,000	6,410,246
合 計	18,480,795	172,611	804,061	17,849,345

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	11,439,099	0	(11,439,099)	0
小 計	11,439,099	0	(11,439,099)	0
特定資産				
退職給付引当資産	1,805,578	0	(1,805,578)	(1,805,578)
医療機関栄養業務実態調査預金	601,526	0	(601,526)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,403,142	0	(3,403,142)	0
小 計	6,410,246	0	(6,410,246)	(1,805,578)
合 計	17,849,345	0	(17,849,345)	(1,805,578)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	17,262,213	5,823,114	11,439,099
什器備品	1,839,491	1,808,337	31,154
合 計	19,101,704	7,631,451	11,470,253

以上のとおり相違ありません。


平成27年4月11日


公益社団法人 千葉県栄養士会
会 長 長谷川 克 己 印
副会長 杉 崎 幸 子 印
副会長 鯨 岡 春 生 印

監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会
会 長 長谷川 克己 様

平成27年4月11日

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 高澤 博道 

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 酒井 秀大 

私たち監事は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿又はこれらに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類およびその附属明細書類並びに財産目録の監査結果
計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。